

114号の内容紹介です。

### 1. マフブバニ「ロシアとの対話が事態打開のカギ」

欧米諸国政府の目指す方向を批判した論文であり、同時に ASEAN の立ち位置を示唆したものでもあります。

キショア・マフブバニ ( Kishore Mahbubani ) は元外交官、シンガポール国立大学アジア研究所の特別研究員でもあります。この論文はシンガポールの [Straits Times](#) に掲載された論文を要約紹介したものです。

### 2. J.サックス「国際協力の失敗の責任はアメリカに」

世界的に著名なアメリカの経済学者、ジェフリー・サックス ( 米コロンビア大学教授 ) が、ロシア軍のウクライナ侵攻直後、3月初めに広島大学でおこなった講演を翻訳しました。世界情勢の悪化の要因が国際協力の欠如にあり、その大きな責任がアメリカにあると強調しています。

### 3. 山崎圭一「ブラジル・ボルソナロの最近の外交」

会員用の勉強会資料として「AALA ニュース」に向けて書き下ろしたオリジナルの論説です。筆者の専門であるブラジルの外交全体のなかに現在のボルソナロ政権の対中外交を位置付けて分析しています。

### 4. ZNet「バーニー・サンダースのウクライナ論」

バーニー派の幹部による解説です。バーニーがバイデンを支持している手前、言いにくいこともあり、現実的で、互いに合意できる解決策を打ち出す必要性を強調しています。

### 5. キューバ外務省「キューバは“一つの中国の原則”への無制限の支持を再確認する」

名指しはしていませんが、ペロシ米下院議長の台湾訪問を批判したものです。

### 6. teleSur「コロンビア、ベネズエラ領事館を再開」

南米の国際通信社テレスールの記事で、コロンビア新政府がベネズエラとの通行を再開する動きを報道しています。

#### **7. アムネスティ「ウクライナは一般市民を危険にさらしている」**

国際人権団体、アムネスティ・インタナショナルが、ロシアの「無差別爆撃」を調べるためウクライナ各地で行った調査の報告です。ウクライナ軍が一般市民を危険にさらす国際人道法違反の作戦を実施していることが確認されたとしています。。